

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程 (三年課程)	看護学科	夜・通信	13単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://ureshino.hosp.go.jp/kango/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議
役割	<p>1. 運営会議の目的 学校運営の円滑化及び適正化を図る。</p> <p>2. 運営会議における外部人材の役割 会議に多様な意見を反映させるために複数の外部委員を任命し、外部委員の自らの経験を活かして社会や産業界のニーズを踏まえた意見を学校運営に反映させることで、更なる学校運営の適正化が図られると期待される。</p> <p>3. 審議事項</p> <p>1) 学校の規程の制定改廃 2) 学校の予算の執行計画 3) 教育課程の編成に関する事項 4) 各学年の教育計画に関する事項 5) 学校の講師・実習施設の選定に関する事項 6) 学生募集及び入学に関する事項 7) 学生の単位・卒業認定に関する事項 8) 学生の休学、復学、退学に関する事項 9) 転入学者等の既習単位等の認定に関する事項 10) 学生の就職に関する事項 11) 学校運営の評価に関する事項 12) 学校の施設設備に関する事項 13) その他学校の運営に関し重要と認める事項</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
嬉野医療センター 看護部長	2020. 4. 1 ～2021. 3. 31	看護管理講師として講義を実施
嬉野医療センター 総合診療科医長	2020. 4. 1 ～2021. 3. 31	健康管理医
(備考) 任期は原則1年間とし、毎年更新する。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>カリキュラムの実施状況について、各科目の教育内容、教育方法、進度について毎月学科・実習調整会議を開催し評価する。また、講師の終講時に学生による授業評価、講師による授業評価、テキストの改定内容や国家試験の出題基準をふまえた検討を行い、年度末に授業計画書(シラバス)、実習要綱を改定する。シラバスには、科目名、単位数、対象学年、開講時期、担当講師名、科目目標、授業概要、授業計画、授業形式、評価方法を記載する。実習要綱には、科目名、実習目標、実習内容、実習方法、実習評価基準を記載する。</p> <p>学生便覧に、成績評価の基準について記載する。基準は、優(80点以上)、良(70点から79点)、可(60点から69点)、不可(60点未満)である。</p> <p>4月始業時に、学生便覧、授業計画書(シラバス)、実習要綱を各学生に配布し、履修についての説明を行い、学校ホームページでシラバスを公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://ureshino.hosp.go.jp/kango/index.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の評価</p> <p>授業科目の評価については、科目ごとに、筆記試験、口頭述試験、レポートおよび実技試験等の評価方法で実施し、受験資格や試験方法および点数配分をシラバスに記載している。</p> <p>実技試験においては、あらかじめ評価基準を設け、学生に説明を行っている。その結果は、単位認定者による試験担当者会議で検討し、客観的な評価を行っている。</p> <p>実習は、実習評価表に評価項目および評価基準を記載している。</p> <p>単位の認定、卒業</p> <p>単位の認定については、学生便覧に記載している学則・学則細則および履修規程に単位認定基準を記載している。年度末3月に運営会議を開催し、単位の認定を行い、単位の修得状況について学生に通知している。</p> <p>卒業については、学則・学則細則および履修規程に卒業の要件、判定について定め、1月の運営会議において卒業の認定を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学年末に履修科目の成績評価の合計点の平均を算出し、100点満点で点数化する。評点60点未満を評語「不可」、評点60点以上～70点未満を評語「可」、評点70点以上～80点未満を評語「良」、評点80点以上を評語「優」として判定する。</p> <p>各指標の数値の中に該当する学生の人数および下位1/4に該当する人数10人および下位1/4に該当する指標の数値79.7点以下を示した。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://ureshino.hosp.go.jp/kango/index.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則 第6章卒業等および学則細則第4章卒業等</p> <p>本学に3年以上在学し、所定の全授業科目の履修認定を受けた者については、運営会議の議を経て、学校長が卒業を認定する。学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。学校長は、本学校看護専門課程看護学科を修了した者に対し、専門士（医療専門課程）の称号を授与する。本学校看護専門課程を卒業した者には、看護師国家試験の受験資格が与えられる。</p> <p>以上の卒業の認定方針等について、学生便覧において明記し、入学時および始業時にオリエンテーションを実施している</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://ureshino.hosp.go.jp/kango/index.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター附属看護学校
設置者名	独立行政法人国立病院機構理事長 楠岡 英雄

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nho.hosp. go. jp/files/000108720. pdf
収支計算書又は損益計算書	https://nho.hosp. go. jp/files/000108720. pdf
財産目録	
事業報告書	https://nho.hosp. go. jp/files/000108720. pdf
監事による監査報告（書）	https://nho.hosp. go. jp/files/000108720. pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,000/97 時間/単位	1,965 時間/74 単位	0時間 /0単位	1,035 時間/23 単位	0時間 /0単位	0時間 /0単位
	夜		単位時間/単位				
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		126人	0人	9人	152人	161人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） カリキュラムの実施状況について、各科目の教育内容、教育方法、進捗について毎月学科調整会議を開催し評価する。また、講師の終講時に学生による授業評価、講師による授業評価、テキストの改定内容や国家試験の出題基準をふまえた検討を行い、年度末に授業計画書（シラバス）、実習要綱を改定する。シラバスには、科目名、単位数、対象学年、開講時期、担当講師名、科目目標、授業概要、授業計画、授業形式、評価方法を記載する。実習要綱には、科目名、実習目標、実習内容、実習方法、実習評価基準を記載する。4月始業時に学生便覧、授業計画書（シラバス）実習要綱を各学生に配布し、履修についての説明を行い、学校ホームページでシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法 （概要） 学生便覧に成績評価の基準である優（80点以上）、良（70点から79点）、可（60点から69点）、不可（60点未満）を記載している。授業科目の評価については、科目ごとに、筆記試験、口頭述試験、レポートおよび実技試験等の評価方法で実施

し、受験資格や試験方法および点数配分をシラバスに記載している。実技試験においては、評価基準を学生に事前に説明し、結果は、単位認定者による試験担当者会議で検討し、客観的な評価を行っている。また、実習は、実習評価表に評価項目および評価基準を記載している。

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業の認定は、本学に3年以上在学し、所定の全授業科目の履修認定を受けた者について学校運営会議の議を経て、学校長が卒業を認定する。学校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。学校長は、本学校看護専門課程看護学科を修了した者に対し、専門士（医療専門課程）の称号を授与する。本学校看護専門課程を卒業した者には、看護師国家試験の受験資格が与えられる。

進級の認定は、各授業科目の単位修得の認定に関わる試験およびその他の審査に合格した者には、学校長が別に指定した単位認定者が単位修得の認定を行う。当該学年終了時までには複数の未履修科目がある場合、原級にとどめることがある。

以上の卒業および進級の認定方針等について、学生便覧に明記し、入学時および当該学年始業時にオリエンテーションを実施している。

学修支援等

(概要)

初年度新入生ガイダンス、学年担当教員による面接及び進路相談を実施している。成績低迷者や希望者に対してはゼミナールや小グループ学習による学習支援を実施している。

看護師国家試験対策として、1～2年時は模擬試験を年に1回実施し、学習状況を把握している。学習支援が必要な学生に対し、学習支援を実施すると同時に、適時、看護師国家試験に関する情報提供を実施している。

3年次は、年に数回の模擬試験、国家試験対策学習会、補習講義を実施している。学習意欲が高い学生に対しては、学会開催に関する情報提供や院内講義・セミナーの参加を促している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
45人 (100%)	3人 (6.7%)	42人 (93.3%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)
看護師（国立病院機構、公的病院等）

(就職指導内容)

入学時よりキャリア開発について意識を高め、2年次より就職ガイダンスを行い、面談および病院見学の相談を実施している。

3年次は就職ガイダンス、個別面談、病院見学やインターンシップに関する情報提供を行っている。また、各病院からの募集要項は学生がいつでも見られる場所に

設置し、就職に関する相談は適宜実施している。
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128人	1人	0.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>入学時にスクールカウンセラー同行の宿泊研修を実施し、スクールカウンセリングの導入を円滑にしたうえでカウンセリングを月2回実施している。同時に、学生の状況等によって緊急性や重要性が高まっている場合や専門的な治療やケアを必要とする場合は、スクールカウンセラーと健康管理医が連携しながら支援を継続している。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として、定期的にカウンセリングを実施している学生を対象に、専用電話を使用した電話相談を取り入れている。また、経済的問題が生じた学生に対し、活用できる制度などの情報提供や相談窓口を設けている。</p> <p>学習が停滞し成績低迷をしている学生の場合は、学年担当教員による個別面談を年度初めに実施し、ゼミナールや小グループ学習を実施している。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	200,000 円	500,000 円	300,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ureshino.hosp.go.jp/kango/index.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>本校は、看護教育自己評価指針の9カテゴリーの評価内容に基づき、毎年、教員を中心とするワーキンググループによる自己点検を実施し、自校の課題および改善すべき点を明らかにし、改善に向けて努力している。また、学校評価の客観性を高めることおよび教育の質向上、社会に責任を果たしていくことを目的として、学校関係者評価 (本校では学校評価運営委員会という) 規程に基づき、学校関係者評価を実施している。学校関係者評価の委員は、行政機関や設置主体の関係者、学外の学校長、副学校長、教育主事、国立大学法人あるいは私立大看護系大学の教授、医師会長、高等学校長、企業の看護管理者、同窓会役員などの学外の有識者等から選定している。</p> <p>学校関係者評価の結果は報告書としてまとめ、学校運営会議にて報告後、ホームページに公表を行う。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人永原学園西九州大学 看護学部 学部長 教授	2019. 4. 1 ～2021. 3. 31	教育の知見のある者
独立行政法人国立病院機構別府医療 センター附属大分中央看護学校 元教育主事	2019. 4. 1 ～2021. 3. 31	教育の知見のある者
独立行政法人国立病院機構嬉野医療 センター 看護部長	2019. 4. 1 ～2021. 3. 31	企業等の看護管理者
町立太良病院 看護部長	2019. 4. 1 ～2021. 3. 31	卒業生 同窓会会長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ureshino.hosp.go.jp/kango/index.html		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://ureshino.hosp.go.jp/kango/index.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。